

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

給料・大学院・経験のどれが、いい授業につながるかという話で、塾の例が挙げられていたが、確かに経験を積めば教えるのは上手くなるかもしれないけど、学級経営と塾は少しちがうので、教師としての成長は塾講師としての成長とはちがうところがあると思いました。また、大学院まで行くことになると、いい人材が教師になるための入口が狭くなるという意見がありました。それもしかしたら、財務省が教員数を減らしたいのと関係があるのかもしれないと思いました。

学籍番号	1	学年	3	氏名	
------	---	----	---	----	--

教師の成長が子どもが従う教師の権力の種類によって左右されることに面白さを感じた。学校が専門性をもつことは重要であると思うが、専門性の育成には学び続ける教師の姿勢が不可欠であるため、現職教育もより教師自身の意欲を育てる内容である必要があと考える。具体的な内容は現段階では思いつかないが考えてみたい。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

経験は、教師の授業の質に影響をしないとする。予備校の講師の授業が上手いと言われるのは、別の要因があるという二つなのかな。これも、授業の質は、単純に、分かりやすく子どもの興味の手続きだけでは、計れないという感じがする。

強性的な権力と報酬による権力というものは、明らかに、子どもの外的動機付けによるものを見て取れますが、関係性が興味深い。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

給料を上げる、経験の長短、大学院での学びの有無など、何が要因で教師が成長する(授業の質が良くなる)のかは、仮説を立ち立てて実際に調べてみたいと思った。給料を上げて、教師は良い授業をしたという意欲は高まるが、実際に目に見える形で違いが出るかは疑問に思った。そんな中、アライ先生が提示してくれた、「一時は上がるが、その後下がる」という結果は興味深い。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

・ 教師の根源的権利の範疇について規範のみがけは生徒の視点から多く含まれていると生徒次第の面が強いように思われた。

・ 学習する学校とやむを得ない学校の違いについて、共通点が多くあるものの、かきさんの感想によると学習する学校のほうにゴールがあるという印象を持った。ただし、柔軟に学び続けようという、教員に求められる資質も共通するのではないだろうか。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

「授業の質は何で決まるか」という議題があった。給料(salary)、経験が主な要因として挙げられた。もちろん、上記の問いに対する明確な答えを述べることはできないが、経験の点からこの問いを考えると、「経験豊富な教師の授業の質は高い」というのが、今回の考え方であった。しかし、今回の講義を通じて、経験が授業の質に直接する訳ではないということや「向上心を持つこと」が経験と合わせて授業の質の向上につなげることを意識することになった。授業の経験を積むことは教師の機能発達に重要であるとは思いますが、さらに重要なのは、自らの授業をフィードバックし、他者と意見交換を行い、実践につなげていくことだ」と思う。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

「日本は異文化」という視点が、  
興味深かった。それに板書中心の  
授業が多かったと思う。私はどう  
授業は好きだったから、たのび、特に  
中高時はよく覚えた<sup>（英語が）</sup>、  
板書ではなく、自分の言葉で話を  
した先生のほうがよく覚えている。  
人柄としては、そういう先生から得た  
教養~~は~~ <sup>が</sup> 多い  
と思う。

学籍番号		学年	3	氏名	
------	--	----	---	----	--

論文の5つの権力は、小中高で担任/教科担当/部活の  
顧問 など。レンズを変えることで重要度は異なると思った。  
小学生から見たら、教師がどれだけのTOEICで高得点と  
とれるか、よりも、面倒見が良く熱意のある人がどうか  
の方が気になるだろう。しかし高校では（これも進学  
校か否かでちがうかも）専門性が大切だと思ふ。

↳ 必要な力がちがうというよりは、そのための訓練や  
研修もちがうものが求められることになると考え  
られる。